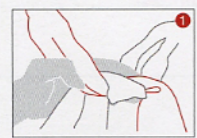


まむす 真結びとほどき方

すべての基本となる結び方。この結び方であれば、運んでいるうちにほどける心配はない。



風呂敷の先端を持って交差させ、1回結ぶ。



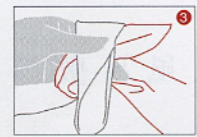
右手でa、左手でbを持つ。



結び目より下にある方の先端が逆を向くように半分に折り曲げる。



aとbを左右にぐっと引っ張る。



結び目より上にある先端を、折り曲げた方の先端に上からかぶせるようにする。



aとbが一直線になるようにする。



できた輪の中にその先端を通して絡める。



右手で結び目を軽く持つ。



両方の先端を均等に引っ張り、しっかりと結ぶ。



引き抜く。

ものを想像する人が多いと思うが、唐草模様は、どこまでも伸びていく蔦をモチーフに、子孫繁栄や商売繁盛の思いが込められた吉祥文様である。このほかにも風呂敷には縁起の良い文様や、季節感溢れる文様が使われている。

戦後、鞆や紙袋、ビニール袋などが普及し、風呂敷を使う人は減ったが、環境問題が深刻化している今、小さく折り畳んで携帯できる利便性や何度でも利用できるエコロジカルな性質が見直されている。

包む物の形や大きさを選ばず、いかに美しく包むか。たった一つの結び方の応用で、様々な形に包むその技術と発想は、手先が器用な日本人ならではの感性が生み出した芸術とでも呼びたいほどである。

日本人のたしなみとして、祝儀・不祝儀の際に小風呂敷や袱紗ふくさを用いたい。ビジネスの場でも上手に使えば、相手に新鮮な驚きを与えられるだろう。贈答品を自分で選んだ風呂敷に包んで渡せば、あなたの心遣いは間違いなく相手に伝わる。



右から、巻き包み、ティッシュボックスカバー、すいか包み、びん包み(2本)、本包み、ドリンクバッグ、書類バッグ
包み方は「日経ビジネスAssocie online」(<http://www.nba.nikkeibp.co.jp>)をご覧ください

やまと 日本のおふくれ

第二部・第六回

包む文化、風呂敷

真の国際化とは自分の国を知ること。
日常的にはほとんど使われることなくなった風呂敷。
しかしその1枚の布に、日本文化の奥深さが感じられる。

text by 渡辺幸裕・photographs by 稲垣純也

1枚の布を使って物を包み、運び、あるいは収納する活用法は世界各国で見られる。その包み方を一種の造形美にまで高めているのが風呂敷だ。そこには日本人の美意識が見事に表現されている。

風呂敷にはかつて2つの使い方があった。包むという機能を受け継いだ「平包み」という使い方と、名前を今に受け継ぐ「風呂敷」と呼ばれた使い方である。

平包みの歴史は古く、奈良時代にまでさかのぼる。それは平安時代に「古路毛都々美」と呼ばれるようになり、鎌倉時代に平

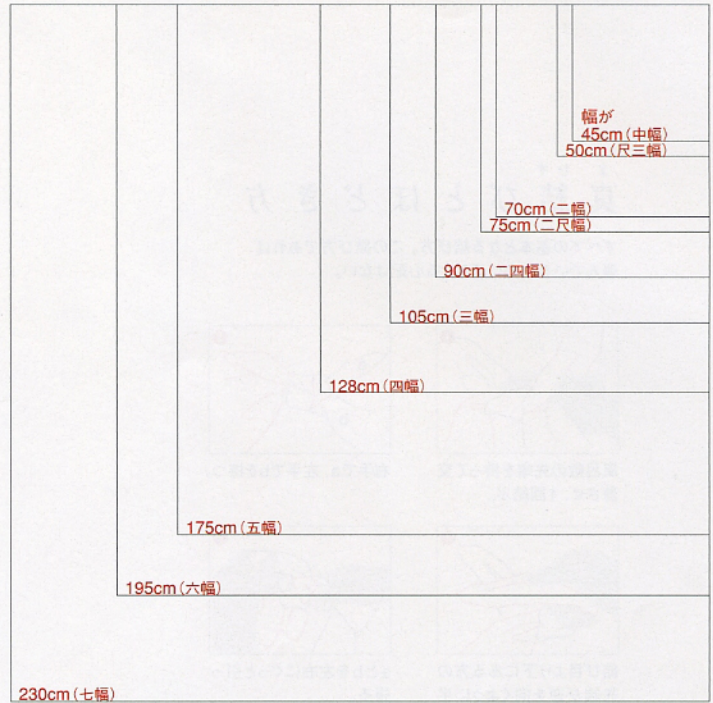
包みと言われるようになる。一方風呂敷と呼ばれる使い方は、その名の通り風呂場に敷いて使われていたもの。室町時代、將軍足利義満の湯殿に招待された大名たちは、布に家紋を染め抜いて、他の人の荷物と間違えないように工夫したという話もある。

江戸時代になって両方の使い方と呼ばれが融合し、今の「風呂敷」になったと言われている。銭湯の普及とともに風呂敷は庶民にも広まり、家紋だけでなく様々な文様が描かれるようになった。


風呂敷というと、泥棒が持つ唐草模様の


風呂敷のサイズ


<p>四幅</p> <p>大きめのバッグやテーブルクロスなどに使えるサイズ。</p>	<p>中幅</p> <p>正絹のちりめんは袱紗代わりに使える。</p>
<p>五幅</p> <p>座布団が5枚包めるサイズ。こたつの上掛けなどによい。</p>	<p>尺三幅</p> <p>お弁当箱やティッシュケース、ペットボトルなどを包むのに適したサイズ。</p>
<p>六幅</p> <p>布団1組が包める。ソファカバーにも使える。</p>	<p>二幅・二尺幅</p> <p>菓子折りや4合瓶を包むのに適したサイズ。ノートパソコンもこのサイズで包める。</p>
<p>七幅</p> <p>布団2組が包める。引っ越し時の荷物運搬に便利。</p>	<p>二四幅・三幅</p> <p>ワインボトルや一升瓶を包める大きさ。買い物バッグにもよい。</p>



風呂敷豆知識

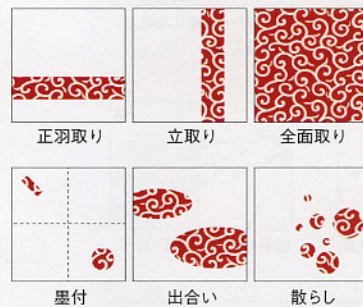
- 

風呂敷には上下がある。フチを縫っている辺が上下(タグがついている方が下)。
- 

形は正方形ではなく左右よりも上下の長さの方が若干長い。
- 

包む物のサイズが風呂敷の1/3であれば、きれいに包める。

風呂敷の構図



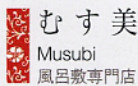
風呂敷に描かれる柄はその位置によって、名前がつけられている。ここでは数ある中から6種類の構図名を紹介する。



Yukihiko Watanabe

ビジネス・コーディネーター。1950年生まれ。前職のサントリー宣伝部で、海外イベントを担当した時、自国文化についての知識のなさを痛感。2001年独立を機に日本文化超初心者会の「和・倶楽部」を提唱、運営中。会のコンセプトは「日本人に生まれたことを喜びたい」。

写真：新聞雑誌



住所：東京都渋谷区神宮前2-31-8
 電話：03-5414-6789
 営業時間：平日11:00~20:00
 土・日・祝11:00~19:00
<http://www.kyoto-musubi.com>



山田悦子さん
 京都 和文化研究所
 むす美
 アートディレクター

「初めてのふるしきレッスン」の著者。他著書多数。



■お知らせ■

「日本かぶれ」では読者の皆様にご参加いただける様々なイベントを計画しております。伝統文化を体験するセミナーや伝統芸能を鑑賞する催しなど、日本をよりよく知るための機会としてご活用ください。詳細は当コラムと日経ビジネスアソシエオンライン (<http://nba.nikkeibp.co.jp/>) を通じて順次お知らせいたします。ご期待ください。